

1400年もの間、時代とともに役割を変え、生き続けてきた竹内街道・横大路(大道)

外交の道

飛鳥と大陸をつなぐ「外交の道」として、大陸からの渡来人や大陸を目指した遣隋使や遣唐使たちが行き来していました。王仁(わに)博士…5世紀前半に百濟から渡来し、学問を広めた学者。



王仁が日本で初めて造ったと伝えられている学校 [王仁の聖堂址]p.4



王仁の子孫によって建立された寺 [西琳寺]p.6



日本初の遣隋使、小野妹子の墓 [小野妹子墓]p.7

信仰の道

聖徳太子ゆかりの施設が数多くあることから、聖徳太子を信仰する人々の「信仰の道」としての役割も担っていました。



聖徳太子の命で蘇我馬子が建立した寺 [四天王寺]p.1



推古天皇が聖徳太子追福のために建立した寺 [野中寺]p.5



聖徳太子により創建された寺 [叡福寺]p.7



聖徳太子の生誕の地 [橘寺]p.12

経済の道

中世には堺と大和をつなぐ「経済の道」として重要な意味をもちました。



16世紀にポルトガルからのタバコ伝来をきっかけに発展 [境刃物]p.3



堺、大和間を商売人が往来していた道 [竹内峠]p.7



かつて、南大和最大の商業都市として発展した自治都市 [今井町]p.9

日本最古の官道で最高の感動を



日本最古の官道

～今も残る大道～

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路(大道)は、『日本書紀』の推古天皇21年(613年)の条に、「難波(なには)より京(みやこ)に至る大道(おおじ)を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

その名残として沿線には、「大道」という地名や町内会名が残っており、今もなお、日本最古の官道として、いつも見慣れた風景の中に1400年の歴史や時代を感じさせる街並みなど、さまざまな魅力を体感することができます。



☆各地のお問合わせ

- 大阪市 建設局 総務部 企画課 …… TEL:06-6615-6573
- 堺市 建設局 土木部 土木監理課 …… TEL:072-228-7416
- 松原市 市民生活部 産業振興課 …… TEL:072-334-1550
- 羽曳野市 市長公室 政策推進課 …… TEL:072-958-1111
- 太子町 地域整備室
にぎわいまちづくりグループ …… TEL:0721-98-5521
- 葛城市 産業観光部 商工観光課 …… TEL:0745-48-2811
- 大和高田市 企画政策部 企画法制課 …… TEL:0745-22-1101
- 橿原市 観光課 …… TEL:0744-22-4001
- 桜井市 産業建設部 観光課 …… TEL:0744-42-9111
- 明日香村 企画政策課 …… TEL:0744-54-2001

- ・平成26年3月現在のデータをもとに作成しています。変更されている場合もありますので、お出かけの前にはあらかじめご確認ください。
- ・街道のルート限定、特定するものではありません。
- ・各ページで紹介している歩行距離や標準歩行時間および標準所要時間は目安です。

- ～安全にウォーキングを楽しむために～
- ※ 交通ルールを守り、車両などには十分に注意してください。
- ※ 住まれている方、他の通行者の迷惑にならないようにしてください。
- ※ たばこの吸殻、ペットボトル、空き缶などゴミは持ち帰りましょう。
- ※ 文化財は大切にしましょう。また自然を守るため、植物の採取などはしないでください。

発行

竹内街道・横大路 ～難波から飛鳥へ日本最古の官道(大道)～
1400年活性化実行委員会
(構成団体 大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

お問合わせ

大阪府 都市整備部交通道路室 道路整備課 計画グループ
TEL:06-6944-9275
奈良県 県土マネジメント部 道路環境課
TEL:0742-27-8103

※本マップは、大阪府から委託を受けた緊急雇用創出基金事業「竹内街道・横大路(大道)1400年記念ブランド戦略PR促進業務」により作成しました。



たに まち よん ちやう め しん かな おか
大阪市営地下鉄 谷町四丁目駅(大阪市) ~ 新金岡駅(堺市)
 歩行距離 14.4km
 標準歩行時間 3時間 46分
 標準所要時間 7時間 30分
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)



■ 難波宮跡公園

大化改新にともなう難波遷都以来約150年間、難波宮は日本の古代史上に大きな役割を果たしました。長年にわたる発掘調査の結果、前期・後期二つの時期の難波宮跡が、中央区法円坂一帯の地にひろがっていることが明らかになり、現在、内裏・朝堂院などの中枢部が、国の史跡に指定されています。



■ 大阪城

豊臣秀吉がつくり、秀頼の時代「大阪夏の陣」で焼けた天守閣は、徳川幕府によって再築されますがその後、落雷で再び焼失。現在の天守閣は1931年に市民の寄付によって完成したものです。

- TEL: 06-6941-3044
- 開館時間: 9:00~17:00 (閉館は16:30)
- 入館料: 大人600円、中学生以下無料
- 定休日: 12/28~翌年1/1



■ 四天王寺

飛鳥時代の代表寺院で聖徳太子により創建されました。賑わう境内は国指定史跡で、本坊方丈、六時堂など、重要文化財も数多くあり、公開されている本坊庭園も見ものです。

- 拝観時間: 拝観時間は時期により異なる
- 拝観料: 無料 (中心伽藍・庭園・宝物館は別料金)



■ 大阪歴史博物館

古代から現代に至るまで、フロアごとに様々な時代の大阪の姿を紹介する体験型の博物館。館内では豊富な実物資料や映像が見られるほか、大阪城や難波宮跡を一望することもできます。

- TEL: 06-6946-5728
- 開館時間: 9:30~17:00 (金曜は20:00まで)
- 入館料: 一般600円
- 定休日: 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



■ 緑の一里塚

一里塚は、かつて街道を旅する人々にとって里程の目印であり、塚上の木が作りだす木陰は一服の休憩場所でもありました。2013年、竹内街道敷設1400年を記念して、地域のみなさんとの協働で大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町の街道沿いに「緑の一里塚」が整備されています。



■ 天王寺動物園

1915年に、日本で3番目の動物園として開園し2015年で100周年を迎えます。約11haの園内には、ゾウ・ライオン・チンパンジーなどをはじめ、天王寺動物園でしか見ることのできないニュージーランドの国鳥・キーウィや池の中の魚を捕って食べるスナドリネコ、人気者のコアラなど、およそ200種900点を超える動物が飼育されています。

- TEL: 06-6771-8401
- 開園時間: 9:30~17:00
- 入園料: 一般500円
- 定休日: 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



難波大道の起点である難波宮跡公園から南下し、堺市へ。歴史深い四天王寺、水と緑をふんだんに取り入れた天王寺公園、世界的な競技場があることでも知られる長居公園など、古代の主要道が通っていたと考えられる道は現在も主要観光スポットとして多くの人が訪れています。堺市に入ると、金岡神社付近で難波大道は終点を迎え、ここから竹内街道につながります。



■ 今川堤の花の道

東住吉区の杭全2丁目から中野3丁目まで続く、今川堤の緑道。花の紹介とそれにまつわる風俗や習慣、遊び方を解説した歌碑を採しながら楽しくウォーキングができます。



■ なにわ伝統野菜の碑

江戸時代「天下の台所」と呼ばれた大阪には、たくさん伝統野菜があるのをご存じでしょうか? 「なにわ伝統野菜」は100年以上前から栽培されている大阪独自の品目です。大阪市内には「なにわ伝統野菜」の碑が各所にあります。珍しい野菜の碑を探してみませんか?

- 玉造黒門越瓜の碑...玉造稲荷神社(中央区)
- 天王寺蕪の碑...阿倍王子神社(阿倍野区)
- 田辺大根の碑...法楽寺(東住吉区)



■ 大阪市立自然史博物館

長居植物園の園内の一角にあり、大阪の生きたちや、縄文・弥生時代人の自然とのかかわりなど、最近の発掘調査をもとに興味深く展示・解説されている自然史の専門博物館です。大阪府下で出土した恐竜の骨格標本や各種の貴重なコレクションがあり、規模は国立科学博物館に次ぐものとなっています。特に、恐竜の骨格標本やナガスクジラの骨は迫力満点です。

- TEL: 06-6697-6221
- 開館時間: 9:30~17:00 (入場16:30まで)
- 入館料: 一般300円
- 休館日: 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

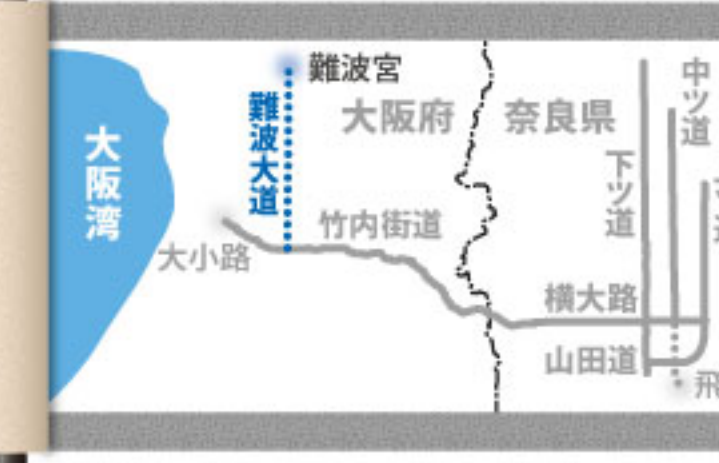


■ 難波大道

「難波大道(なにわだいどう)」は、諸説ありますが、大阪市中央区の難波宮から南に直進し堺市の金岡神社あたりで竹内街道と交わると考えられています。古くは摂津と河内の国境でしたが、現在は大阪市の住吉区と東住吉区、堺市と松原市の境界となっています。

凡例

○	難波大道	●	おすすめルート
■	竹内街道	■	道標
♿	トイレ	Ⓜ	信号
🛖	休憩所	🚇	近畿日本鉄道
🏪	コンビニ	🚗	JR
🏪	スーパー	🚇	大阪市営地下鉄
🌳	緑の一里塚		



街道マップ「難波大道」谷町四丁目駅 ~ 新金岡駅

大阪府大阪市 ~ 堺市

さかい かわち まつばら
南海本線 堺駅(堺市) ~ 近鉄南大阪線 河内松原駅(松原市)

歩行距離 15.7km
 標準歩行時間 3時間 16分
 標準所要時間 7時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

竹内街道の起点となる大小路から南東方向へ。堺市役所を過ぎ、仁徳天皇陵古墳を右手に眺めながら直進します。余裕があるようなら、仁徳天皇陵古墳の周遊路を1周してみましょう。大泉緑地を過ぎたあたりから西除川までは交通量が多く歩きにくいので、大泉緑地の中を通り、パードウォッチングなどを楽しみながら進むルートもおすすです。



堺伝統産業会館

堺の伝統産業を一堂に集めた施設。刃物の博物館「堺刃物ミュージアム」を併設。週末を中心に実演やイベントも行っています。お土産の種類も豊富です。

- TEL:072-227-1001
- 開館時間:10:00~17:00
- 入館料:無料
- 休館日:年末年始(臨時休業あり)



開口神社

行基が境内に念仏寺を建立し、空海が宝塔を建てたので「大寺」とも呼ばれています。西鳥居のとても大きな親子狛犬は迫力満点です。阿吽が一般とは左右逆なのも珍しいです。



榎宝篋印塔

1648年に夢幻永海(むげんえいかい)という僧が、勧進し建立。地域の人の信仰対象だけでなく旅人や道中の無事を祈る人達の信仰を集めて350年もの間静かに人々の生活を見つめています。



金岡神社

平安時代の宮廷画家でやまと絵の祖といわれる巨勢(こせ)金岡を祀る神社。難波大道は難波宮から南にまっすぐ伸び、金岡神社のあたりで竹内街道につながったと云われています。



王仁の聖堂址

5世紀前半に渡来した百済の学者、王仁博士が日本で初めて造ったと伝えられている学校。学問の発祥地として伝承されています。春の桜に囲まれた聖堂址もおすすです。



竹内街道
 竹内街道は、堺市の大小路から奈良県葛城市の長尾神社に至る全長約30kmの街道です。難波の港に着いた最新の文化や技術もこの道を通って飛鳥へ運ばれました。長尾神社より東側は奈良盆地を東西に横切る横大路とつながっています。

堺刃物

16世紀にポルトガルからタバコが伝来したことをきっかけに作られた「タバコ包丁」をルーツとして発展しました。その抜群の切れ味から多くのプロの料理人に愛されています。



堺市役所 21階展望ロビー

堺市を360度見渡せる展望台から巨人になった気分で、世界最大級の墳墓「仁徳天皇陵古墳」を眺めよう。昼間とは雰囲気の違い夜間もおすすです。

- TEL:072-233-1101(観光案内コーナー)
- 営業時間:9:00~21:00
- 入場料:無料
- 定休日:無休



百舌鳥古墳群

東西南北約4キロメートルの範囲に広がる古墳群で、古市古墳群と並んで日本最大です。仁徳天皇陵古墳をはじめとする44基の古墳が残っています。



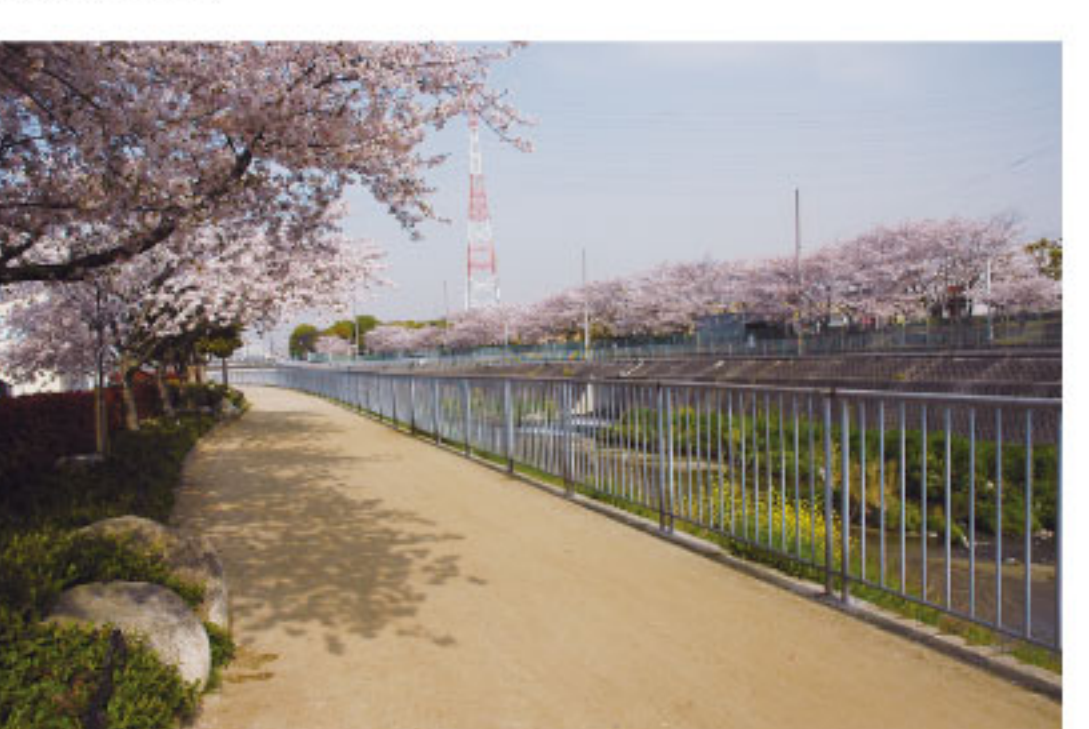
岡公園

古くから、岡では竹内街道を茶屋筋と呼び親しんできました。竹内街道を広く知ってもらえるよう、記念碑が建立されています。このあたりは道標も残っており、松原と竹内街道の歴史を感じることができます。



西除川遊歩道

松原市西部の西除川に沿って、北は天美西公園から南は松原市民運動広場までを結ぶ約4kmの遊歩道。遊歩道内には5つの広場があり、四季折々の花や緑を楽しめます。



堺まつり(堺市10月)
 勇壮な火縄銃隊の演技やふとん太鼓、時代衣装や民族衣装の行列など、堺1600年の歴史と文化を表現する「大パレード」、千利休が大成した茶道文化を継承し、茶の湯の発展を目的に開催する「利休のふるさと堺大茶会」、堺の特産品などを即売する「なんばん市」など、時代色・国際色豊かなイベントです。

街道マップ「竹内街道」堺駅〜河内松原駅
 大阪府堺市〜松原市

かわち まつばら かのの たいし
近鉄南大阪線 河内松原駅(松原市)～上ノ太子駅(羽曳野市)

歩行距離 16.2km
 標準歩行時間 3時間 23分
 標準所要時間 7時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

松原市南部を抜けて羽曳野市へ。この付近には体積では日本一の応神天皇陵古墳をはじめ大小の古墳や古社寺が並んでいます。街道沿いにある、それら古代文化の名残を訪ねて歩くのも楽しいエリア。臥龍橋を越えると飛鳥川の旧河川敷を利用した遊歩道「であいのみち」もあり、古墳時代・飛鳥時代を表現したモニュメントなどで、羽曳野の歴史や文化と出会えます。



柴籬神社

長尾街道と竹内街道のほぼ中央に位置する神社。日本で唯一の「歯磨き面」があり歯の神様として信仰されています。触ると歯痛にならないと云われています。



野中寺

聖徳太子の命で蘇我馬子が建てたと伝えられ、「中の太子」と呼ばれています。白鳳期の弥勒菩薩半跏像(みろくぼさつはんかぞう)や平安期の地藏菩薩立像などの重要文化財があります。

- 拝観時間: 境内自由 (仏像拝観9:30~16:00)
- 拝観料: 無料 (仏像拝観300円※毎月18日)



日本武尊白鳥陵古墳

5世紀の後半に築造された、長さ200m、高さ23mの前方後円墳。古墳の北側を通る竹内街道の道筋からは、広い濠の水面に前方後円墳の美しい姿を見ることが出来ます。



河内ぶどう

羽曳野市駒ヶ谷地域では主にデラウェア種のぶどうが栽培され大阪府内で一番の生産量を誇っています(大阪府の生産量は全国で第3位)。市内のワイナリーでは、地元のぶどうを使用したワインの製造が行われており、フルーティな味わいで大変飲みやすいと好評です。また、近年はデラウェアを使用したスパークリングワイン等も製造販売されています。



西琳寺

7世紀前半に、渡来系氏族の西文氏(かわちのふみうじ)によって建立された寺院。かつては壮大な寺院でした。屋根を飾った鸕尾(しび) (羽曳野市指定文化財)は他に例を見ないほど装飾豊かです。

- 拝観時間: 拝観自由
- 拝観料: 無料



誉田八幡宮

欽明(きんめい)天皇の頃、勅命で応神陵の前に創建されたと伝えられる八幡宮。拝観庫には源頼朝の寄進と伝えられる神輿をはじめ、数々の国宝・重要文化財が収められています。9月15日には神輿が応神天皇陵に渡御する「お渡り」の儀式が行われます。



竹内街道・花回廊

街道の新たな魅力づくりとして、地域の皆様との協働で、季節の花で街道を飾る取組みを進めています。



河内大塚山古墳

全国で5番目に大きい前方後円墳。古墳沿いを歩くとその大きさを体感できます。また、柴籬神社の鳥居横にある手水鉢は河内大塚山古墳の石室材であると考えられています。



翠鳥園遺跡公園

旧石器時代の遺跡としては国内最大級。二上山周辺で採れるサマサイトと呼ばれる石材で石器をつくる様子や、当時の人々の暮らしなどを学ぶことができます。



応神天皇陵古墳

盛土の体積は日本最大、長さは仁徳天皇陵古墳に次ぐ全国第2位の巨大な前方後円墳。5世紀前半に築造されたと考えられます。陪塚の誉田丸山古墳から出土した馬具は国宝に指定され、誉田八幡宮に所蔵されています。



峯ヶ塚古墳・峰塚公園

長さ96mの前方後円墳で、後円部に造られた石室からは豪華な副葬品が多数発見されました。峰塚公園は「モニュメントゾーン」「郷土の森ゾーン」「文化イベント広場ゾーン」「管理施設ゾーン」「古墳の丘ゾーン」からなる公園として、市民の憩いの空間として利用されています。



月読橋・飛鳥川の歌碑

竹内街道と飛鳥川が交わる場所に架かる橋。その50mほど上流にある石碑には柿本人麻呂(かきのものひとまろ)の歌、「あすか河もみじ葉ながる 葛城の山の秋風 吹きぞしぬらし」が刻まれています。



まつばらマルシェ (松原市11月)

「食」を基本テーマとした南大阪最大級の地産地消フェア「まつばらマルシェ」が松原中央公園を中心に毎年開催されます。近隣市町村、他府県から多くの味自慢、腕自慢の美味しいお店が多数出店します。



縦じ位置

かみのたいし いわき
近鉄南大阪線 上ノ太子駅(羽曳野市)～磐城駅(奈良県葛城市)

歩行距離 11.5km
 標準歩行時間 2時間 23分
 標準所要時間 5時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

峠を越えるといよいよ奈良県へ。「王陵の谷」とも呼ばれる太子町付近には飛鳥文化の香りが漂います。途中にある道の駅「近つ飛鳥の里太子」では地元の特産品なども販売されています。竹内峠に立つ県境の碑を越えれば、奈良県へ。相撲発祥の地として知られる葛城市に入ります。風情ある竹内街道を経て長尾神社へ。



街道マップ「竹内街道」上ノ太子駅～磐城駅

大阪府南河内郡太子町～奈良県葛城市

小野妹子墓
 日本で初めて遣隋使として隋に派遣された小野妹子の墓と伝えられる塚。100段以上ある階段を登ると、素敵な眺めが待っています。春は桜、秋は紅葉の名所として地元の人々に親しまれています。

みかん(太子町)
 太子町の地形と気候はみかんの生産に適しています。コクのある味が特徴で「大阪みかん」として「なにない特産品」に選ばれています。町内には関西最大規模のみかん園もあり秋にはみかん狩りが楽しめます。

竹内峠
 江戸時代、堺で水揚げされた魚を大和で売り、その帰りに三輪でそうめんを仕入れ、堺で売るといように「経済の道」として竹内峠を往来する人々がいました。1876年の堺県による奈良県併合を契機に峠の改修工事が行われ、南大阪と大和を結ぶ重要な道として整備されました。

長尾神社
 竹内街道の始発点、終着点となる神社で、東に向かえば横大路、伊勢街道、南に向かえば高野街道と様々な街道が交わり、交通の要となることから、古くから旅の安全を祈願する旅人に信仰されてきました。大和に住んでいた巨大な大蛇の頭が三輪明神、尾は長尾神社という伝説が残っています。

當麻寺
 612年に創建。中将姫が西方浄土を蓮糸で織り表したとされる當麻曼荼羅が當麻寺本堂の本尊として伝わっています。国宝が8件、重要文化財が28件収蔵されています。春の牡丹は特に有名です。

●拝観時間: 9:00～17:00
 ●拝観料: 無料(本堂・金堂・講堂 一般500円)

ぼたんまつり(葛城市 4月15日～5月15日)

當麻寺、石光寺の何千本もの牡丹が開花し、期間中は様々な催しが実施されます。中将姫の命日5月14日に行われる「當麻寺練供養」は、二十五菩薩が、現世に里帰りした中将姫を迎えて、極楽へ導く様子を再現する、1000年を超える伝統行事です。

叡福寺・聖徳太子御廟
 聖徳太子は、推古天皇の摂政として、十七条憲法や冠位十二階の制定、遣隋使の派遣などの進んだ政治制度や文化を取り入れました。

●拝観時間: 境内自由(寺宝館9:00～17:00)
 ●拝観料: 無料(寺宝館200円)

竹内街道歴史資料館
 竹内街道と太子町の歴史について紹介する資料館。竹内街道の始まりから現代に至るまでを、さまざまな角度から知ることができます。

●TEL: 0721-98-3266
 ●開館時間: 9:30～17:00
 ●入館料: 一般200円(特別展は別料金)
 ●休館日: 月・火曜(祝祭日の場合は、翌日)年末年始

道の駅 近つ飛鳥の里・太子
 大阪で二番目に出来た道の駅。新鮮な野菜や果物はもちろん、太子ワインなど太子町ならではの商品が手に入ります。土・日・祝は「わいわい朝市」が開催されます。

●TEL: 0721-98-2786
 ●営業時間: 9:00～17:00(トイレは24時間利用可能)
 ●定休日: 年末年始

葛城市相撲館「けはや座」
 相撲の開祖「當麻蹶速(たいまのけはや)」にちなんで建てられた全国でも珍しい相撲の資料館。本場所と同サイズの土俵があり、誰でも相撲体験することが出来ます。相撲の歴史や郷土力士に関する資料が数多く展示されています。

●TEL: 0745-48-4611
 ●開館時間: 10:00～17:00
 ●入館料: 一般300円
 ●休館日: 火・水(祝日の場合は開館)

石光寺
 日本でも最古級に数えられる石仏や与謝野晶子・鉄幹の歌碑があり、ボタンやシャクヤクなどでも知られ、関西花の寺二十五霊場の一つです。

●拝観時間: 8:30～17:00
 (11月下旬～3月末は9:00～16:30)
 ●拝観料: 一般400円

綿弓塚
 松尾芭蕉が門人千里の旧里である竹内に宿ったときに詠んだ句を記念し、建てられた句碑があります。「綿弓や 琵琶になぐさむ 竹の奥」は、芭蕉の紀行文「野ざらし紀行」にも登場し、毎年11月の第2日曜日には綿弓塚保存顕彰会が行われています。

近鉄南大阪線 磐城駅(葛城市) ~ 近鉄大阪線 大和八木駅(橿原市) ~ 耳成駅(橿原市) ~ 桜井駅(桜井市)

歩行距離 12.6km
標準歩行時間 3時間 9分
標準所要時間 6時間 30分
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

長尾神社から横大路を東へ。この付近には、大和高田市の太神宮の高燈籠や橿原市の八木札の辻など、近世の「おかげ参り」の名残が、今もいたるところに残っています。当時の人々賑わいに触れながら東へ進み、飛鳥へつながる3つの下ツ道、中ツ道、上ツ道を過ぎたら、そこは桜井市です。



街道マップ「横大路」磐城駅〜大和八木駅〜耳成駅〜桜井駅

奈良県葛城市〜橿原市〜桜井市

■ 大中公園

公園横の高田川沿いを2.5kmにも及ぶ約1000本の桜並木は、大和高田市を代表する桜の名所。お花見だけでなく、移りゆく季節の自然を楽しめます。ゆったりくつろげる芝生広場もあり、家族連れで訪れるのにぴったりです。

■ 専立寺・寺内町

1600年の創建で「高田御坊」ともいわれています。専立寺を中心に寺内町が発展し、今日の商いのまちの礎が築かれました。江戸・明治・大正・昭和の町並みが見られる歴史地区です。時間旅行を楽しんでみてはいかがでしょうか。

■ 太神宮の高燈籠

大和平野を東西に貫く伊勢街道を東から高田に入る位置に、一際存在感のある高燈籠が建っています。往時、旅の道しるべとして明かりが灯され、伊勢大神宮をめざす「おかげ参り」は、大群衆となってその前を通ったようです。

■ 八木札の辻

「下ツ道」と「横大路」の交差点が「八木札の辻」で、ここは古代からの交通の要衝で、近世・江戸時代になると伊勢参りや大衆への参詣巡礼などで、特に賑わっていたと推測されています。

■ 桜井西之宮三輪神社

横大路と中ツ道(江戸時代の橋街道)が交差していて、鳥居脇に、江戸時代には「おかげ参り」で伊勢街道の目印になっていた大きなケヤキの古木が、一際目を引く神社。

よこおおじ 横大路

奈良盆地を真東西に結ぶ道。難波から飛鳥京、藤原京などを結ぶ古代の官道をもとに近世には、大坂からや西日本各地から渡辺津で船を降りた人の伊勢参りへの道として賑わいました。大坂と大和国との商業流通の生活の道でもあり、大坂側では、竹内街道につながり、奈良盆地南部を東西に一直線に結んで初瀬街道に通じています。

■ 龍王宮

龍王宮は、石圍坐多虫玉神社(いわその)にいますたくむしたまじんじや)といい、大和高田市内で唯一の延喜式内社。本社は安寧天皇の片塩浮孔宮跡と伝承され、付近からは土器・木棺・埴輪・七鈴鏡などが多数発掘されています。

■ 長谷本寺

8世紀初頭の創建の寺院。「横大路」に面しており、本尊の十一面観音菩薩像は、桜井市の長谷寺本尊と同木で刻まれたといわれています。十一面観音菩薩像・兜跋毘沙門天像ともに奈良県指定文化財です。

■ 不動院(大日堂)

聖徳太子の創建であったといわれています。1483年、高田城主当麻為長が本堂を建立し、国の重要文化財に指定されています。本尊の大日如来像は鎌倉時代に造られたものです。また、不動院(大日堂)の紫陽花として親しまれています。

■ 今井町

今井町は、戦国時代末期に一向宗道場の寺内町として成立しました。織田信長と戦うも降伏し、その後、自治権を認められて「大和の金は今井に七分」といわれるほど栄え、「海の堺、陸の今井」と称されるまでになりました。

■ 太神宮灯籠

江戸時代、伊勢神宮への参詣は、「おかげ参り」と呼ばれ、多くの人が何日もかけて伊勢神宮を目指しました。この灯籠は、ここから東へ約200mのところにある「接待場」として伝承されている場所にあったものを移築したものです。

たかだ まつ 高田おかげ祭り(大和高田市10月)

おかげとは、江戸末期から明治初年にかけて、大群衆となって、伊勢神宮をめざした「おかげ参り」に由来するものです。龍王宮、片塩地域商店街を主なエリアとして、おかげ踊りパレード、うまいもん市、おかげ市、手作り市など、盛りだくさんの出し物があります。

近鉄橿原線 **大和八木駅**(橿原市) ~ 近鉄吉野線 **飛鳥駅**(明日香村)
近鉄大阪線 **耳成駅**(橿原市)

神武天皇陵

日本書紀、古事記によると、初代・神武天皇は日向〔宮崎〕から米作を伝えながら東征され、途中幾多の困難を乗り越え即位された神武天皇の陵(みささぎ)は、畝傍山の東北の麓、畝傍山東北陵(うねびやまうしとらのみささぎ)に治定されています。静かな御陵は、荘厳で神々しい雰囲気包まれています。



橿原神宮

初代天皇である神武天皇が、橿原宮で即位されたことにより、明治23(1890)年に創建された神社です。本殿と文華殿は重要文化財に指定されています。



丸山古墳

全国6番目、奈良県最大の前方後円墳で、6世紀後半に築かれたものと考えられています。全長約310m、後円部径約150m、前方部幅約210m、周濠を含めると全長約420mにもなり、埋葬施設もそれに恥じない日本最大の横穴式石室として知られています。



下ツ道

藤原宮跡の西側から北へ平城宮跡に向かい一直線に伸びる道。道の南端は全長318mの前方後円墳・見瀨丸山古墳の北側。札の辻で横大路と交差し、大和郡山市の観音寺に至ります。ここは平城宮の羅生門跡があるところです。

おふさ観音

正式名は高野山真言宗別格本山観音寺といいますが、本尊である十一面観音は、身体に健康を授けると言われていましたが、近年では老人病封じを願う人々が多く訪れるようになってきました。本堂の奥にある「茶房おふさ」にも立ち寄りみてください。

●拝観時間: 7:00~17:00 ●拝観料: 無料(本堂のみ300円)



本薬師寺跡

奈良・西の京にある薬師寺の前身にあたる寺です。天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願して、680年に建立に着手。皇后・持統天皇がその遺志を継いで完成させました。ホテイアオイの花が咲き誇る季節には、カメラを手に多くの人が訪れます。



欽明天皇陵

欽明天皇は、推古天皇のお父さんにあたり、日本に仏教が伝わった頃在位していたといわれています。前方部を西に向け濠をめぐらす前方後円墳であり、現在もその形が残っています。造出しのある前方後円墳としては最も時代の下る可能性が考えられています。

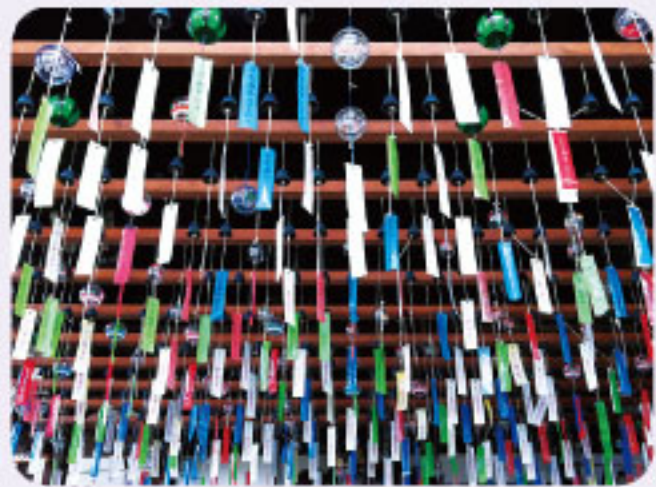


バラまつり(橿原市 ●春 5月15日~6月30日) ●秋 10月19日~11月30日)

おふさ観音では、訪れる方に心を癒して頂こうと、境内でたくさんのバラを育てています。色とりどりのバラが咲く様子は仏様の世界に例えられ、「花まんだら」とも呼べれます。

風鈴まつり(橿原市 7月1日~8月31日)

風鈴を飾る風習は、鐘の音が魔を払い、厄を払うという仏教思想から生まれたものです。おふさ観音では、たくさんの風鈴の音色で厄払いをして、心身を癒して頂こうと「風鈴まつり」を開催しています。



歩行距離 5.7km 標準歩行時間 1時間 26分
標準所要時間 3時間 (標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

歩行距離 6.5km 標準歩行時間 1時間 38分
標準所要時間 3時間 30分 (標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)



橿原市から明日香村へ。下ツ道は、八木札の辻からおふさ観音を経て、さらに国道169号線を南下し明日香村まで通ずる道です。中ツ道は、桜井市の三輪神社より南へ明日香村まで通ずる道です。現存する道は、わずかしかないので、香具山の西側に位置する奈良文化財研究所藤原宮跡資料室を通るルートもおすすめです。

藤原宮跡

藤原宮は、今から約1300年前、持統・文武・元明の三代の天皇が治めた都、藤原京にあった宮で、日本で初めて造られた瓦葺の宮殿です。藤原宮の内部には大極殿や朝堂院・朝集殿といった政治の中枢となる施設のほか、天皇や皇后の住まいである内裏、行政の実務をおこなう官衙〔今の役所〕がおかれていました。つまり藤原宮は、今の皇居と国会議事堂、霞ヶ関の官庁街を1つにしたような場所であり、まさに政治の中心地といえます。



飛鳥水落遺跡

水時計建物の跡。日本書紀によると、660年5月、中大兄皇子が日本で初めて水時計を作って人々に時刻を知らせたと、書かれています。



橘寺

橘寺は、聖徳太子誕生の地に太子自身が創建したといわれています。飛鳥時代の不思議な石、二面石もあり、背中合わせの二つの顔はそれぞれに人の心の善悪が象徴されているそうです。

●拝観時間: 9:00~17:00
●拝観料: 一般・大350円



案山子コンテスト(明日香村9月)

日本の棚田百選である稲渕地区で、毎年秋に案山子コンテストが開催されます。作品が展示されている所は、「案山子ロード」と言われ、数十体の個性あふれるユニークな案山子が、一定間隔で並んでいます。

香具山

名勝大和三山の一つで、標高は152.4m。古代から「天」という尊称が付くほど神聖視され、万葉集にも数多く歌われています。神話の中で一番初めに現れた国常立神を祀る国常立神社や天照大神を祀る天岩戸神社などがあり、月の誕生石・蛇つなぎ石と呼ばれる謎に満ちた巨石も点在しています。



飛鳥寺

588年蘇我馬子によって建てられたと伝えられる日本最古の仏教寺院。大化の改新の主役、中大兄皇子と中臣鎌足が知り合ったのも飛鳥の蹴鞠(けまり)の会であったといわれています。

●拝観時間: 9:00~17:30(4~9月) 9:00~17:00(10~3月)
●拝観料: 一般・大350円
●休観日: 4/7・4/9



中ツ道

中ツ道は、大和盆地を南北に貫く古代の官道で、藤原京から平城京への遷都の道だとされています。この道がいつ頃作られたかは定かでは有りませんが、672年の壬申の乱の時、大和の戦場として「將軍が本營の飛鳥に帰ると、東国からの本隊の軍が続々やってきた。そこで、軍を分けて、それぞれ上道・中道・下道にあてて配備した。」という記述があることから、この時には、できていたと考えることができます。

街道マップ「下ツ道・中ツ道」
大和八木駅 ~ 飛鳥駅

奈良県橿原市 ~ 明日香村

さくらい JR万葉まほろば線 **桜井駅(桜井市)** ~ 近鉄吉野線 **飛鳥駅(明日香村)** あすか

歩行距離 8km
標準歩行時間 2時間
標準所要時間 4時間
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)



桜井市から明日香村へ。上ッ道を南下すると、日本三文殊の一つである安倍文殊院が見えてきます。しばらくすると山田道へ入り、山田寺跡をすぎるといよいよ明日香村へ。飛鳥時代の歴史や文化を感じながら歩き進み、高松塚古墳が見えてきたらゴールの飛鳥駅はもうすぐそこです。

安倍文殊院

日本三文殊の一つ。勉学に励む多くの児童学生達に知恵を授けることで有名で、受験生が数多く合格祈願に訪れる寺です。また、お年寄りの味方「ばけ封じの霊場」として、無病息災を祈る方の参詣が増えています。



飛鳥坐神社

うっそうとした森の中であって、神のおられる場所という空気が漂っています。毎年2月の第一日曜日には、五穀豊穡・子孫繁栄を祈願する参詣者でにぎわいます。



仁王堂八幡神社

古代の大和盆地には、国家によって整備された官道、主に横大路という東西の道路と上ッ道、中ッ道、下ッ道という南北の三道がありました。この神社は、ちょうど横大路と上ッ道の交差点付近に位置しています。



土舞台

土舞台は、聖徳太子が伎楽を初めて習わせた、いわばわが国の「日本芸能発祥の地」といえます。それまで日本には神楽がありましたが、この時以来、宮廷に伎楽が伝わり日本の芸能はバラエティ豊かなものになりました。



山田寺跡

大化の改新の功臣蘇我倉山田石川麻呂によって発願されたとされます。1976年以降の発掘調査で、7世紀に創建された寺院のほぼ全容が明らかになりました。



石舞台古墳

天井石の上面が広く平らで、まるで舞台のように見えるその形状から古くから「石舞台」と呼ばれています。被葬者は蘇我馬子ではないかといわれています。



上ッ道

6世紀後半から7世紀にかけて整備された官道のひとつで、南北方向に延びる道としてはいちばん東側に位置しました。桜井市から天理市南部にかけては比較的よく形跡が残っています。桜井では「山田道」と接続し、飛鳥方面にも続いていました。しかし平安京遷都以降は次第に使用・維持がされなくなったと考えられています。

桜井万葉まつり 灯籠流し(桜井市9月)

毎年秋に、金屋河川敷公園特設会場にて、「桜井万葉まつり」が開催されます。中でも、灯籠流しはカップルや家族連れに人気。優美で幻想的な夏の終わりを告げる送り火です。

山田道

山田道は、大和王権の宮殿があった磐余(いわれ)と飛鳥を結んだ約8キロの官道として整備され、万葉集にも登場します。つくられた時期は不明。平安時代の説話集「日本霊異記(りょういき)」には、雄略天皇(在位5世紀後半ごろ)の腹心が「阿部の山田の前の道」を走ると記載されています。日本書紀でも608年、中国・隋の使者が山田道を通つたらしいとの記述があります。

亀形石造物・酒船石

明日香村には、いつ、何のために作られたのか分からないたくさんの石造があります。その謎に、人々は宇宙人がやってきたのかしら、など自由にさまざまな想像を膨らませます。多くの人々の好奇心を引きつけるパワーが、石造物にはあるようです。

孝元天皇陵

第8代孝元天皇の陵(みささぎ) 橿原市石川町にある剣池嶋上陵(つるぎのいけのしまのえのみささぎ)に治定されています。石川池のほとりにあり、まるで池に浮かんでいるように見えます。



甘樫丘展望台

頂上からの眺めは素晴らしく、香具山、耳成山、欽傍山、さらにその向こうに葛城・金剛山が屏風のように連なっており、多くの山々に守られていることを実感できます。また、万葉集に登場する植物を鑑賞することもできます。



向原寺

この寺の起源伝承は古く、6世紀の仏教伝来の頃までさかのぼります。『日本書紀』は、552年、百済の聖明王が初めて我が国に仏像、仏典をもたらしたとき、蘇我稲目は仏像を譲り受け、向原の家を浄めて寺としたといわれています。



高松塚古墳

高松塚周辺は、公園のように広く、古墳に囲まれながら人々がウォーキングをする姿も見られます。1972年の発掘調査によって彩色壁画のある横口式石槨(せきかく)が存在していたことが明らかになりました。近くには、国宝の男女人物像、四神、日月や星宿図が、鮮やかに再現されている、高松塚壁画館があります。



街道マップ「上ッ道・山田道」桜井駅〜飛鳥駅



奈良県桜井市〜明日香村